

平成 26(2014)年度 基礎研究報告

■テーマ

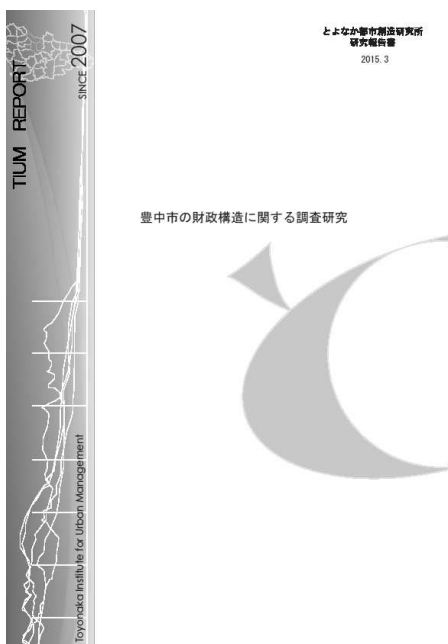
豊中市の財政構造に関する調査研究

■研究報告書 要旨

昨今、日本の人口減少と少子高齢化の問題、また公共施設の老朽化の問題が議論されていますが、本研究では、これらの問題が豊中市の財政にどの程度影響するかを考えるため、一定の前提を設定したシミュレーションを行いました。

地方財政対策において、計算される足元の財源不足の金額を見るだけでなく、構造的な税収水準や、人口構造の変化による財政面でのインパクトを可能な限り正確に反映した定量的なシミュレーションに基づき、今後の財政運営のあり方の検討材料を提供することが本研究の目的です。

■研究報告書 目次



第1章 はじめに

第2章 豊中市の財政構造

第3章 人口の構成が市税収入に与える影響について

第4章 人口の構成が歳出に与える影響について

第5章 豊中市の公共施設の大規模改修と

更新の費用の推計について

第6章 おわりに

(熊本)